

私の母は重い腎臓の病で、あとはもう移植しかないと言われていました。移植は希望でした。結果、母に移植することはありませんでしたが、今、さい帯血移植でどなたかの役に立てることを嬉しく思います。願わくは、移植を受けたことを忘れるくらい幸せになって下さい。それでも元気が出ない時にあなたの体の一部となったさい帯血が、あなたの幸せを願っていることをチラリと思い出していただければ嬉しいです。

札幌市 A・Yさん